

平成25年三重県議会定例会開会会議  
スポーツ振興対策調査特別委員会 委員長報告（骨子案）

1 委員会の取組経過

(1) 特別委員会の設置目的

(2) 調査状況（執行部からの聴き取り、参考人招致、県外調査の実施）

2 調査の結果

(1) 調査結果（執行部からの聴き取り、参考人招致、県外調査）

3 委員会の意見

(1) 競技スポーツ水準の向上に向けた取組について

ジュニア育成から高等学校、大学、企業への就職までの一貫した環境づくり  
国体開催時に選手となるジュニア競技者の発掘・育成・強化を計画的かつ早期に実施

ターゲットエイジの強化（例えば、強化指定選手として指定証を発行、学校単位ではなく、選抜チームとして強化）

用具購入や遠征に必要な多額の費用を強化費として確保

重点高等学校へのスポーツ推薦入試の導入

企業への選手雇用の働きかけ、クラブチームの強化拠点化

選手の強化が国体開催までの一過性のものにならないよう、開催後も継続して選手強化等のスポーツ振興に取り組む

指導者の養成

競技の継続性（「選手 指導者 本県で次世代育成」というサイクルの制度化）

教員採用試験におけるスポーツ特別選考制度の継続

スポーツ指導者の教員採用と適切な配置及び補充

長期的な指導ができる勤務年数の配慮

外部指導者の増員による指導者の負担軽減

関係機関の連携

スポーツ推進局、教育委員会、県体育協会等の連携による総合的な取組

関係機関を通じ、公益財団法人日本体育協会に対し、国体開催による成果が将来にわたって生かされるような方向性を示すよう働きかける

( 2 ) 本県におけるスポーツ施設整備の在り方について

県内施設の現状把握

県内施設の現状を把握するとともに、仮施設での対応の可能性と仮施設の必要性など実態を調査

整備の方向

既存施設の有効利用や仮設等による対応

市町が新たに一定基準の施設を整備する際の県の支援措置

県内で整備すると費用が膨大となる競技施設について、近隣県の施設を活用  
社会インフラ、まちづくり、地域の活性化、防災拠点機能等の観点も加えた  
整備

スポーツ誘客、観光の観点から会場地の選定にあたっては、宿泊施設についても配慮

( 3 ) 国体に対する県民意識の醸成に向けた取組について

三重県愛、郷土愛が育まれるような応援体制や雰囲気づくり

国体を県全体の活性化につなげるための県の支援

## 4 まとめ